

環境経営レポート

㊦ 紀洋木材 株式会社

2023 年度

(対象期間 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



発行日： 2024年7月4日
更新日： 2024年8月21日

目 次

項 目	ページ
経営理念・経営方針	2
環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価・次年度の計画	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	12



□経営理念

自己実現

人格向上

我々は木のぬくもりを通じて
夢と希望の持てる

経営方針

『木のぬくもり』とは

企業として大切にしなければならないものは「ぬくもり」を感じてもらえる事である。

『夢、希望』とは

企業が目指す将来。
社長が目指す人格向上と自己実現。
社員が思う理想の生活、仕事、人生。
その中には「楽しさ」がある。

『幸せ』とは

社員全員の、社員の家族の、関わる皆の、
そこには「喜び」がある。

「一生懸命」に「強さ」を持つ。

企業、社長、社員が可能な精一杯の精神、行動。

「日本一を目指す」事で「向上心」を持つ

企業として、トップを目指す。
仕事として、例えば、営業では日本一販売できる営業マン。
経理では日本一優秀な経理マン。
そのような人より秀でた自分を目指す。
人間として、例えば、人格的にも誰もが尊敬できる男性。
誰もが認める素敵な女性
それは今の自分ではない、成長している自分を目指す。
「関わった皆」が「共存」していく。 紀洋木材株式会社の社員はもちろん、得意先、仕入先、外注先の人々。

環境経営方針

現在、地球温暖化が大変深刻な問題となり、私達個人もこの問題について考えなければならない時期に来ています。地球温暖化の原因のひとつになっております森林伐採の産物である木材製品を販売する会社として、森林資源だけではなく地下資源の枯渇への対応及び、木材製品等の販売事業活動における環境負荷の低減が最重要課題との認識に立ち、全社一丸となり、排出CO2の削減、あらゆる資源の使用量削減に自主的・積極的に取り組み、木のぬくもりを通じて、幸せな企業を目指しつつ、環境保全活動に勤めます。

環境保全への行動指針

1. 具体的に次のことに取り組みます。

①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

②廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進

③節水の推進

④森林保全に考慮した木材の調達と顧客ニーズに応える供給を促進することで企業価値向上を目指します

（合法木材の調達と販売、顧客ニーズに応える供給・・・）

⑤地域社会とのコミュニケーション活動（地域イベント参加・インターシップ受け入れ）

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。



制定日：2007年11月13日

改定日：2022年8月4日

代表取締役社長 桑原健郎

組 織 の 概 要

(1) 名称及び代表者名

紀洋木材 株式会社
代表取締役社長 桑原 健郎
URL : <http://www.kiyolumber.co.jp>
E-mail : info@kiyolumber.co.jp

(2) 所在地

本 社 大阪府大阪市大正区小林西1丁目16番2号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 城山 覚 TEL : 06-6552-6391
担当者 事務部 平尾 久美子
担当者 配送部 城山 覚
担当者 業務部 岡野 雄貴

(4) 事業内容

木材製品及び建築資材などの販売

(5) 事業の規模

売上高 54 億円 (2023年度末)

		本 社
従業員	名	24 名
延べ床面積	m ²	3300 m ²

(6) 事業年度 4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 紀洋木材 株式会社
対象事業所 : 本 社
対象外 : なし 全社認証範囲
活動 : 木材製品及び建築資材などの販売

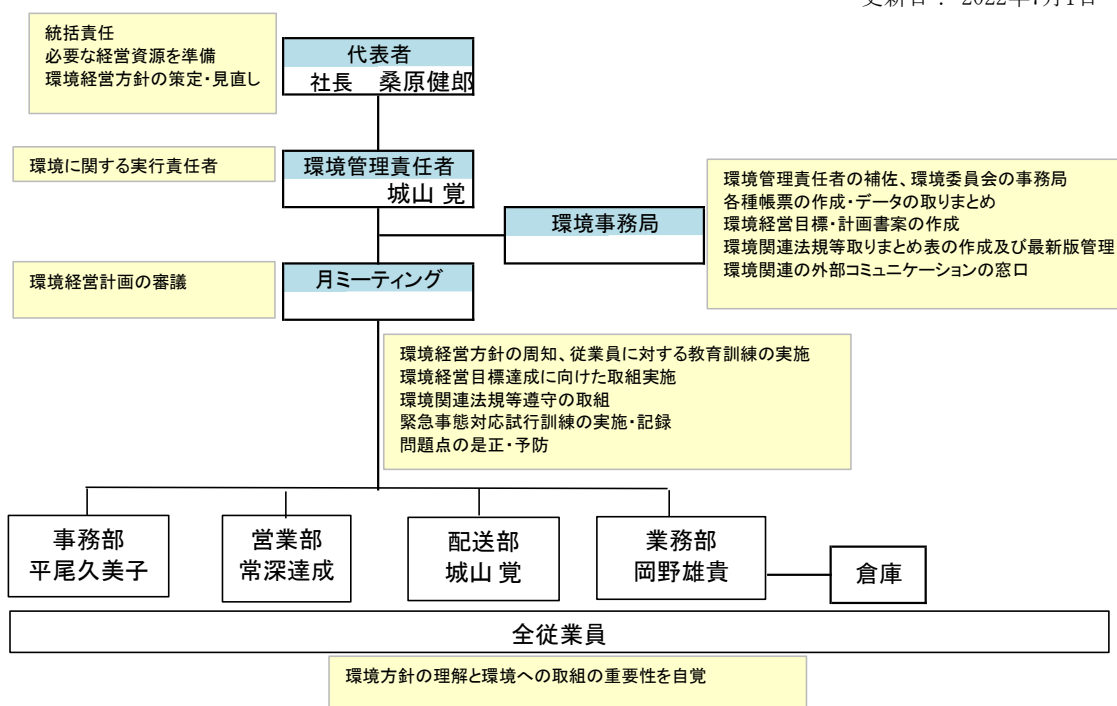
□事業の紹介

紀洋木材は、国内外の有力な木材メーカー様や木材商社様より「確かな品質の木材や建材」をタイムリーに仕入れ、ゼネコン様・型枠工務店様・造作工務店様に向けて、迅速かつ小回りのきいた納品を心掛けています。



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2022年7月1日



業務部

Logistics department

商品の物流を担当（集荷・出荷・運搬）

業務部からのメッセージ

人的な安全はもとより、お客様の大切な商品を傷めないように細心の注意を払いつつ物流を行っています。また、時間指定での納品や建設現場への直接納品などのご要望も、遠慮なくお申し付けください。



営業部

Sales department

仕入から販売に至る一連の営業活動を担当

営業部からのメッセージ

お客様のいついかなるご要望にも、できる限り「誠実にお応えする」ことをモットーに、毎日の営業活動に力を注いでいます。木材・建材に関することなら、私ども紀洋木材の営業部員に何なりとご相談ください。



事務部

General Affairs department

総務経理に関わる事務を担当

事務部からのメッセージ

お客様と直接お会いする機会が少ない部門ではありますが、電話口でも笑顔忘れず、的確かつ迅速な事務対応で、お客様のお役に立ちたいと願っています。お困りやお急ぎの時でも、気兼ねなくお問い合わせください。

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	104,627	149,877	155,107
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	0	0	0
産業廃棄物排出量	kg	0	4,500	1,770
水使用量	m ³	201	305	330
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.351	0.351	0.311
※産業廃棄物は2021年度は発生していない。		関西電力	関西電力	関西電力
※焼却炉を設置のため一般廃棄物は全量焼却で発生していない。				

kg-CO₂/kWh

環境経営目標及びその実績

項 目	年 度	基準値			評価	2024年		2025年	
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(実績)	(目標)	(実績)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	10,607	10,501	10,706	×	10,077	10,077	10,077	10,077
	基準年度比	2022年	99%	101%		95%	95%	95%	95%
	原単位	kWh/百万円	6.308	6.245	6.401	×	5.993	5.993	5.993
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	139,270	137,877	144,401	×	136,484	135,092	135,092	135,092
	基準年度比	2022年	99%	104%		98%	98%	97%	97%
	上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	149,877	148,378	155,107	×	146,561	145,168	145,168
電力使用量の削減	kWh	30,220	29,918	34,424		28,709	28,709	28,709	28,709
	基準年度比	2022年	99%	114%		95%	95%	95%	95%
	kg	0	0	0	○	0	0	0	0
一般廃棄物の削減	kg	0	0	0	○	0	0	0	0
	基準年度比	2022年	100%	100%		100%	100%	100%	100%
	m ³	305	302	330	×	299	296	296	296
水道水の削減	m ³	305	302	330	×	299	296	296	296
	基準年度比	2022年	99%	108%		98%	98%	97%	97%
合法木材の調達と販売		行動目標（次項による）							
地域社会とのコミュニケーション活動		行動目標（次項による）							

※一般廃棄物は出来る限り分別、再使用、リサイクルし、残差は自己焼却するため発生しない。焼却灰は産廃処分する。

※産業廃棄物は焼却灰などの混合廃棄物で年に1回程度の排出のため削減目標としていない

□太陽光発電 発電量（全量売電）

		2021年	2022年	2023年
新エネルギー	kWh	57,613	57,848	50,234
太陽光発電	MJ	207,407	208,253	180,842



発電量の軽油燃料換算

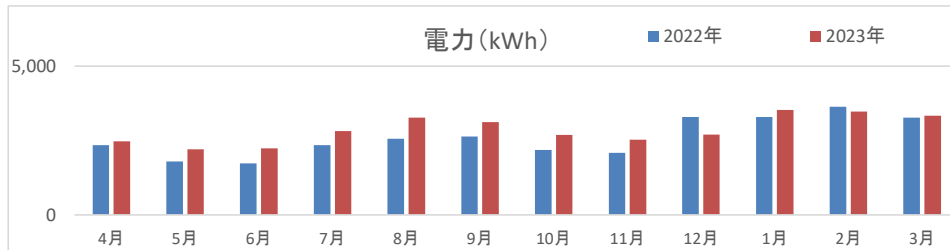
$$\begin{aligned}
 50234\text{kWh} \times 9.83\text{MJ/kWh} &= 493,800 \text{ MJ} \\
 493800 \div 37.7\text{MJ/L} &= 13,098 \text{ L (2023年度軽油使用量 42,495 L)}
 \end{aligned}$$

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標:○達成 ×未達成

活動:○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	9月も猛暑10月も残暑が続き、今年から1階以外に、2階と外の小屋でエアコンを使用するようになった為電気使用量が増加した。小屋のレーザー印刷機もかなりの電力を消費するものと思われる。 次年度はエアコンの温度設定の変更などを検討したり、サーキュレーターを導入などを考える。事務所1階への集約も完了して使用量は減少する傾向と思われる。目標値は2023年度基準で99%を目指す。
原単位目標	×	
不要照明の消灯、スイッチの適正管理	○	
OA機器の点検(買い替え時の省エネタイプ購入)	○	
冷房28℃ 暖房20℃(室内温度管理に変更)	△	
業務の簡素化をはかり、エネルギーの削減に努め	○	
業務時間の削減	○	
不使用時のPC/電灯の消灯(昼休み徹底)	○	

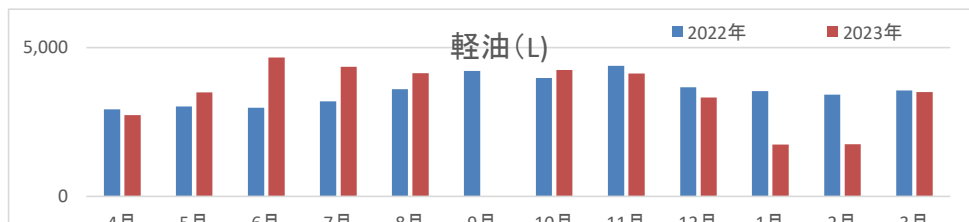


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	2,352	1,808	1,736	2,350	2,561	2,642	2,182	2,088	3,296	3,296	3,642	3,279
2023年	2,473	2,211	2,249	2,822	3,271	3,121	2,694	2,526	2,708	3,531	3,479	3,339

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	前年比売上アップ、遠方配達や小口配達の影響もむあるが、単純に売上の増加が燃料使用量を押し上げたと思われる。活動としてはエコドライブ、安全運転は出来ている。燃費データは収集しているので次年度は燃費データを入力して評価する。数値目標は2023年度基準で99%を目指す。
自動車燃費向上目標の説明	○	
アイドリングストップ	○	
急加速・急停車の防止	○	
配送ルート合理化による、使用エネルギー燃費のよい車の購入	○	
燃費を前年度より改善する。	△	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	251	422	423	460	562	578	511	545	368	525	381	293
2023年	408	505	647	681	549	698	496	461	708	709	496	481

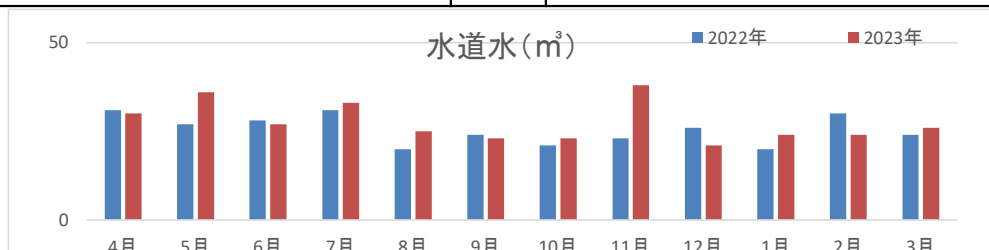


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	2,927	3,028	2,976	3,196	3,604	4,217	3,979	4,385	3,669	3,538	3,421	3,555
2023年	2,728	3,492	4,669	4,356	4,135	0	4,251	4,134	3,328	1,741	1,748	3,503

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	自家焼却により発生しない。分別や梱包資材の削減活動は出来ている。特に、ペーパーレス化に取組、廃止が減少している。  
廃棄物削減目標説明	○	
裏紙使用	○	
分別によるリサイクル化（端材・挽き粉）	○	
木屑、げた、木製パレットのリユース	○	

全量自家焼却のため廃棄なし。

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	従業員数が増加してことで手洗い、トイレ用水が増えたかもしれない。グリーンベルトへの水やりも影響している。次年度も節水に心がける。2023年度の99%を目指す。
水道水削減目標説明	○	
節水呼びかけ	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	31	27	28	31	20	24	21	23	26	20	30	24
2023年	30	36	27	33	25	23	23	38	21	24	24	26

合法木材の調達と販売	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
合法木材適合品の購入（FSC認証出荷証明）	○	顧客要求事項としてFSC認証のトレーサビリティとしての出荷証明書の発行が不可欠となっている。対応できるようにシステムを開発して導入が完了している。国産材の需要や輸入木材の信頼性の確保について引き続き顧客要求事項に対応していきたい。企業価値向上の目標については、森林保全にかかわるイベントへの参加、中高生の会社見学においてEA21の説明や環境活動の啓発などを行う計画とする。
商品の梱包簡素化	○	



地域社会とのコミュニケーション活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
地域イベント参加	×	地域イベントの参加は出来なかった。中学校の会社見学受け入れ、社内コミュニケーションとして社員BBQ、社内報を毎月発行している。社内報は給料明細に同封されており社員家族にも読んでいただいており、家族ぐるみのコミュニケーションとなっている。
インターシップ受け入れ	○	
社内コミュニケーション	○	



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
NOx・PM法	車輦
消防法（危険物）	指定可燃物の保管（木材）
フロン排出抑制法	業務用空調機（フロン回収破壊、簡易点検）
顧客要求事項	グリーン購入に関する項目（合法木材、森林保全）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

2023年度は外部からの苦情はありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023. 10. 30	■実施場所 本社荷下ろしスペース
■参加者： 全員23人	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
コロナの影響で3年ぶりの訓練でした。特に問題なく実施されました。	
■実施状況の様子 正消防署員の指導のもと 消火訓練を行いました。（添付写真参照）	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年7月4日

2023年度はエコアクション21活動について、よく活動してくれたと感じている。2023年度は社員数も増加して、社内のスペース配置も1階集約し、業務効率の改善になった。基準年度は売上高が安定した2023年度を基準に変更する。近年の実績を考慮した基準に設定しなおす。

社会情勢は木材利用が奨励され、国産材あるいは森林保全を考慮した認証材などの調達と販売が社会的ニーズとなっており、SDGsの取組や事業での環境配慮を発信することが重要で、エコアクション21のPDCA活動を社内に浸透させること、環境経営レポートでの取組や企業価値にかかわる活動を発信していきたい。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり 基準年度を変更する。
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介



PPバンド
再使用できるように、圧着タイプはできるだけ使用しない。

壊れた木製パレット、不良木材をリン木に再使用
運搬時にも使用している



金属バンド
外国産木材は金属バンドが多い。
(海上輸送中の荷崩れを考慮して)
これを、分別して売却
金属バンドはパレットに釘などで固定されていて、取り外すのに大変です。運転手が積み込みの暇をみて、取り外し作業をしています。

倉庫屋根の全面に太陽光発電を導入
2015年2月より49.5kWの太陽光発電が稼働しました。これにより、年間50000kWhの発電が見込まれます。二酸化炭素に換算すると約1.9万kg-CO2となり、自社で使用する電力



おがくず袋
木材再利用のため、切断で発生したおがくずを袋に入れてストックしています。月に2~3袋できます。これを床の油とりとして売却しています。

測量杭
そりやカビのある角材や板材は測量杭に加



倉庫内、外の照明を全面LED化

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2023年 10月 30日(月) 大正消防署員の指導のもと 消火訓練を行いました



□編集後記

廃材をリユースして手作りボールペンの販売しています。



2023年3月8日健康経営法人に認定されました。



社内報を毎月発行しています。

